



城南進研グループ
Johnan Academy Group

平成27年3月期 第2四半期
決算説明会

株式会社 城南進学研究社 (4720)

2014年 12月 5日

代表取締役社長 下村 勝己

平成27年 3月期 第2四半期 決算報告

今期の見通しと今後の課題

第2四半期 業績ハイライト ① 経営成績

- 前期比・予算比ともに、大幅な増収増益を達成
- (株)ジー・イー・エヌを子会社化し、前期より連結決算を開始

連結経営成績

(百万円)	予算	当2Q	予算比 増減率
売上高	3,063	3,178	+115 +3.8%
営業利益	174	316	+142 +81.6%
経常利益	197	345	+148 +75.5%
当期純利益	148	252	+104 +70.3%

(参考) 個別経営成績

前2Q	当2Q	前期比 増減率
2,833	3,055	+221 +7.8%
155	297	+142 +91.4%
178	326	+147 +83.0%
138	250	+111 +80.6%

※ 前期より連結会計を開始しているため、対照表が変則的になっておりますことをご了承下さい。

第2四半期 業績ハイライト ② 財政状態

- 総資産 6,038百万円、純資産4,265百万円に
- 自己資本比率は 70.4% に

連結貸借対照表

(百万円)	前期末	当2Q	増減	比(%)
流動資産	1,948	2,261	+313	+16.1%
固定資産	3,711	3,777	+65	+1.8%
資産計	5,659	6,038	+379	+6.7%
流動負債	998	1,126	+127	+12.8%
固定負債	595	646	+51	+8.6%
負債計	1,593	1,772	+178	+11.2%
純資産	4,065	4,265	+200	+4.9%
負債・純資産計	5,659	6,038	+379	+6.7%

第2四半期 業績ハイライト ③ キャッシュフロー

- 税引前四半期純利益342百万円の計上などにより、営業活動によるキャッシュフローは421百万円の収入
- 配当金の支払い64百万円等により、財務活動キャッシュフローは67百万円の支出

連結キャッシュフロー

(百万円)	当2Q
営業活動 C F	421
投資活動 C F	0
財務活動 C F	▲67
現金及び現金同等物 四半期末残高	1,594

- 大学受験市場の縮小により、生徒数は減少傾向
- 演習授業「THE TANREN」・合宿などの提供により売上単価は増加し、売上高は前期並みを維持
- 現役合格保証制度はさらに浸透（在籍率61.3%）



現役合格保証制度：
大学入試結果に満足せず、次年度も城南予備校において再挑戦する場合は、高卒部授業料を全額免除する制度



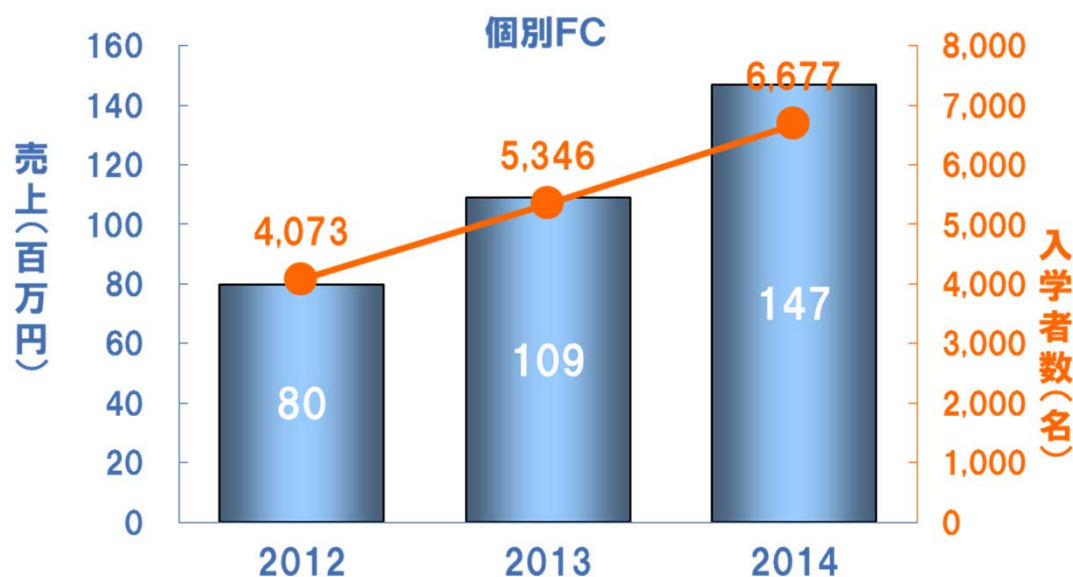
- 個別指導の需要の高まりを受け、生徒数・売上高ともに前年を上回る
- 小学生向け「ジュニアコース」や中・高生向け「演習コース」の導入により集客力向上



成績保証制度：

期間内に所定の点数が達成できなかった場合は、保証期間終了後の翌期間（4ヶ月間）の対象科目の通常授業料を全額無料とする制度

- FC教室は全192教室（前期末比+18教室）、生徒数は前期比+24.9%に
- 開校業務サポートの強化により、新規教室の業績が改善

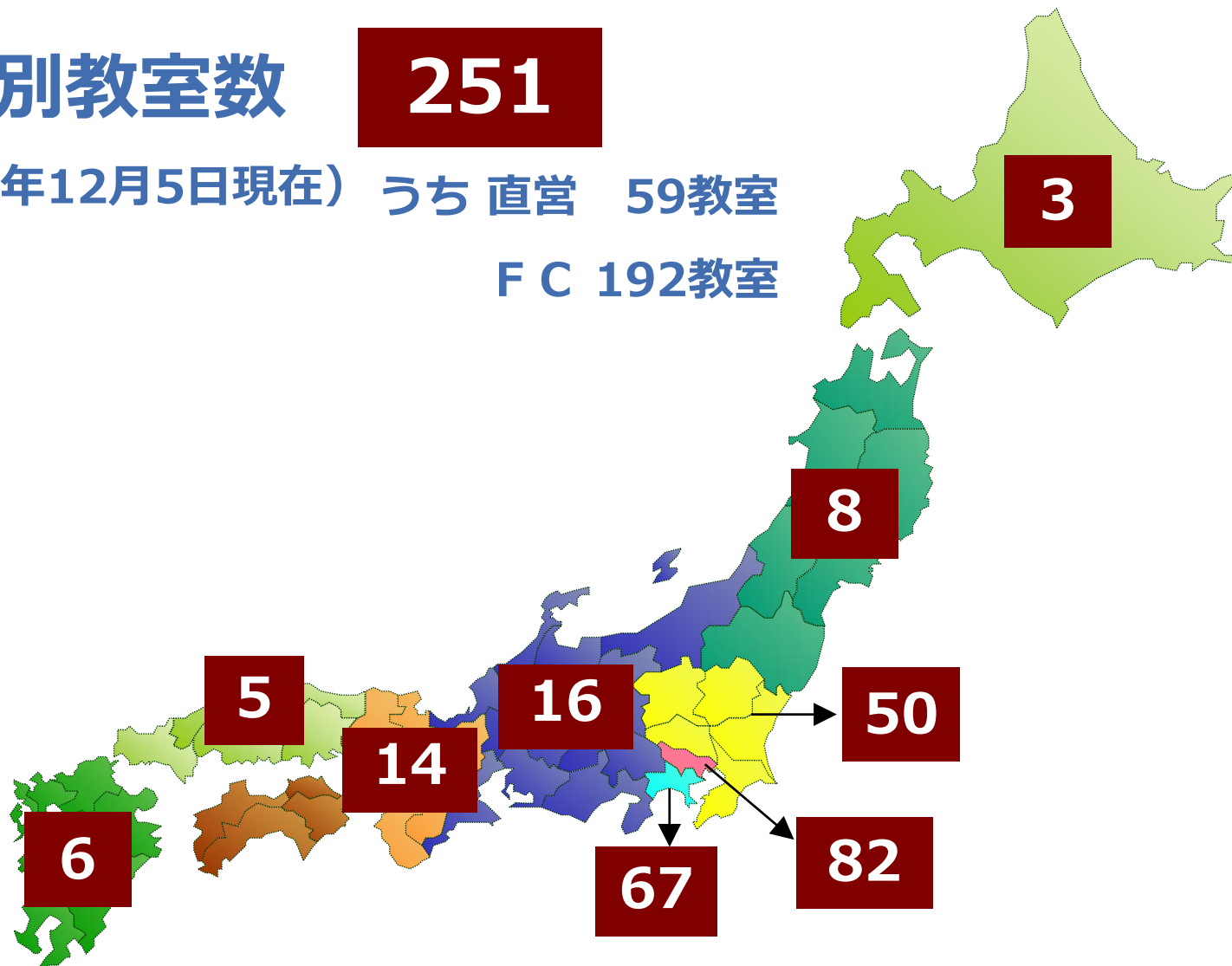


個別教室数

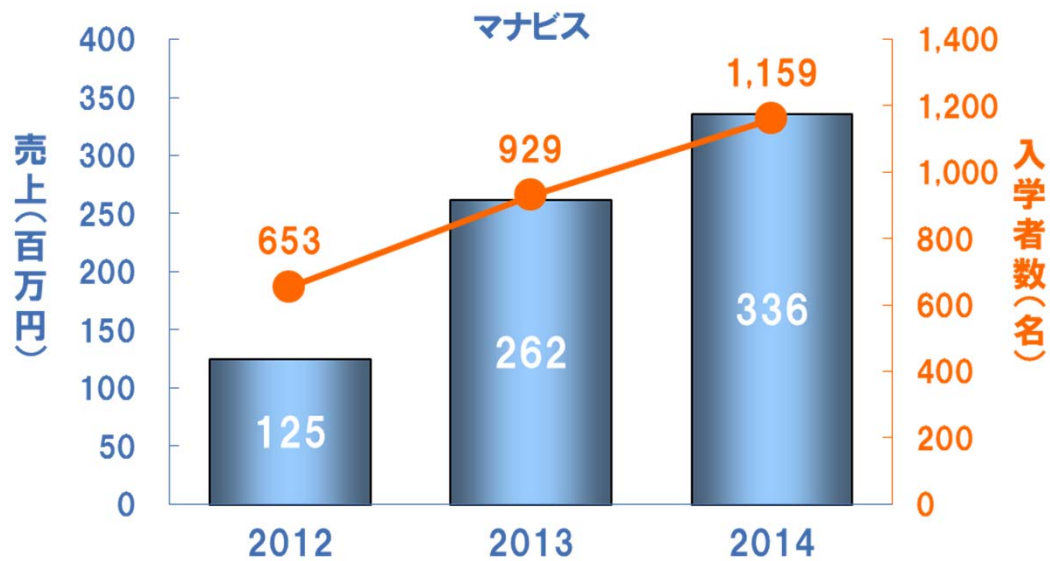
251

(2014年12月5日現在) うち 直営 59教室

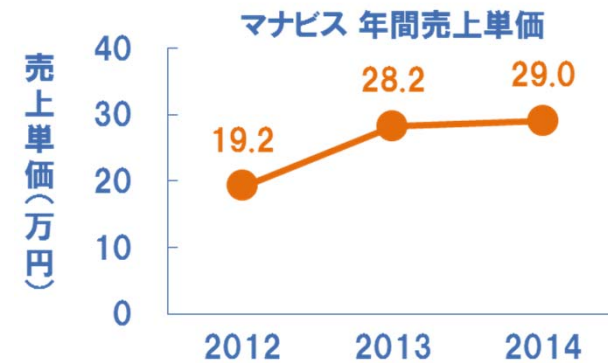
F C 192教室



- 「自分のペースで学習を進めたい」というニーズに応える映像授業
- 6月に南浦和校を開校し、着実に生徒数・売上高を伸ばす

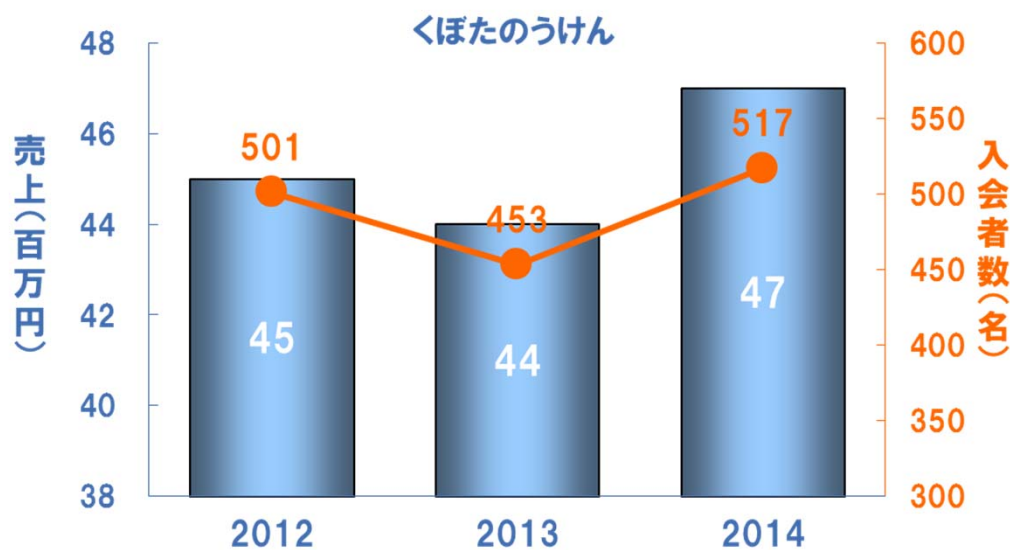


映像授業をビデオ・オン・デマンド形式で視聴
 当校はフランチャイジーとして校舎を展開



南浦和校、6月に開校

- 久保田カヨ子夫人が実践した、賢い脳を育てる乳幼児教室
- 9月に表参道教室開校、カヨ子先生による特別レッスンを実施



表参道教室、9月に開校
特別レッスン風景



- 「くぼた式育脳法カリキュラム」を導入した保育園
2011年4月に東京都認証保育所として開設
- 入園者数は順調に増加し、定員に迫る勢い



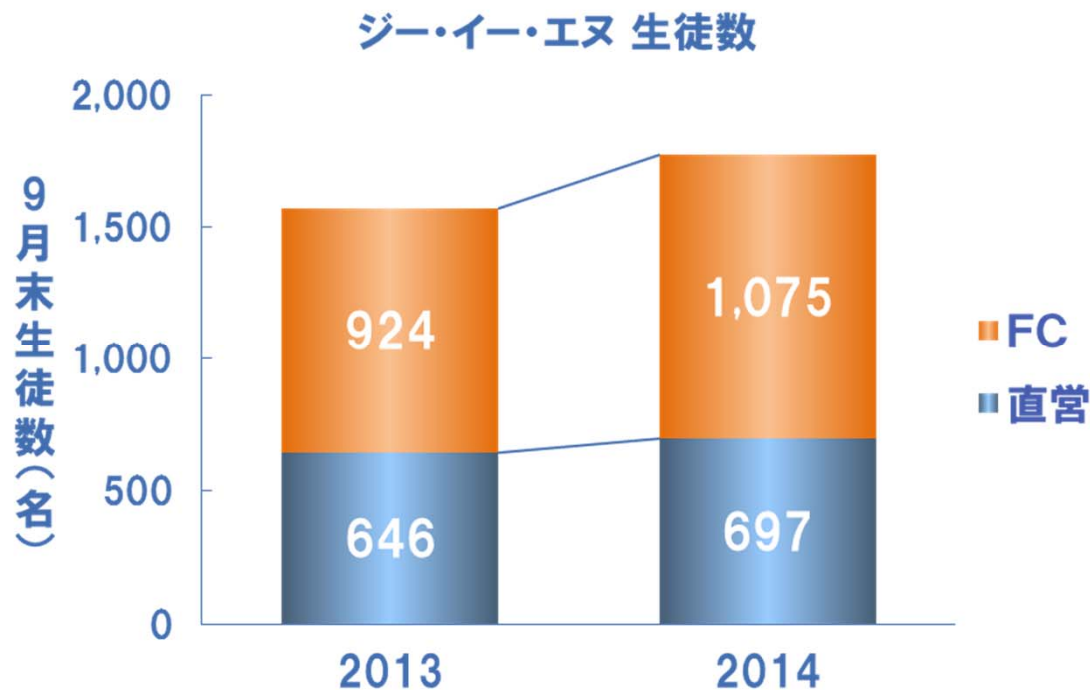
くぼた式育脳法を導入



英語レッスン風景



- 前期10月に(株)ジー・イー・エヌを子会社化
- 直営教室・FC教室ともに生徒数拡大、当第2四半期の売上は122百万円に（内部取引消去後）



第2四半期業績 部門別売上のまとめ

- 各事業とも、前年比較で増収を達成
- ニーズをとらえた個別指導・映像授業が売上を伸ばす
- 子会社ジー・イー・エヌも収益拡大に貢献

(百万円)	前期	当期	増減	比(%)
予備校	1,563	1,566	+2	+0.2%
個別指導	900	1,023	+123	+13.7%
マナビス	262	336	+74	+28.4%
ジー・イー・エヌ	0	122	+122	-
児童教育	77	88	+12	+16.3%
デジタル教材	19	20	+1	+8.9%
その他	10	17	+7	+65.9%
<総計>	2,833	3,178	+344	+12.2%

平成27年 3月期 第2四半期 決算報告

今期の見通しと今後の課題

中期経営計画の進捗状況 ① “あるべき姿”

城南進研グループは、少子高齢化社会における競争に勝ち抜くために、

- ① 社会環境の変化（IT化、グローバル化など）にフレキシブルに対応し、顧客層の拡大を図ります。
- ② サービスの専門性を高め、差別化を推進することで顧客満足度の向上を目指します。

これらを通じて、お客様に選ばれる総合教育サービス企業として、持続的成長を実現します。

結果として、城南進研グループは民間教育を牽引する存在となります。

- ① 社会環境の変化に応じた成長戦略の推進
- ② 事業の再構築とシナジー効果の追求
- ③ 顧客満足度の向上を軸としたブランドの構築

中期経営計画の進捗状況 ③ 業績目標

- 今期上半期は、期中入学者数の増加や夏期講習の増収などにより、売上高・利益ともに計画を上回る
- 中期経営計画の目標を「必達目標」としつつ、計画の着実な遂行を推進

(百万円)	2014年度	2015年度	2016年度
売上高	5,942	6,317	6,795
営業利益	221 (3.7%)	315 (5.0%)	475 (7.0%)
経常利益	274 (4.6%)	379 (6.0%)	543 (8.0%)

総合教育企業を目指して ～年齢層及び商圈のイメージ～



社会的背景

- ◆ 少子高齢化に伴う絶対的医師不足
- ◆ 神奈川に医学部新設の動き
- ◆ 志の低い医師の増加、不祥事の多発

医学部受験の現状

- ◆ 医師になる意識が曖昧なまま、成績だけで選択
- ◆ 医学部に入ること自体が目的化
- ◆ 人間性教育は受験勉強の前に犠牲になりがち

知・心・体を兼ね備えた、志の高い医師を養成する医学部受験塾「城南医志塾」を新設



基本コンセプト：

1. 顧問現役医師・医大生・予備校講師がタッグを組み、医学部受験を全面サポート



基本コンセプト：

2. 少人数制授業・予備校講師によるマンツーマン個別指導により、合格力を鍛える
3. 医療体験活動や交流会、医師による講演会などを通じ、医の道の志を育む

2015年 2月、横浜校開校

AO・推薦入試の現状

- ◆ 私立大入学者の約5割がAO・推薦入試での合格者
- ◆ 難関私立大・国公立大から医療系まで受験層が拡大し、ニーズが広がっている
- ◆ AO・推薦入試対策の低学年化が進む

城南AO推薦塾

広がるニーズに対応するため、これまでのAO・推薦指導の蓄積を生かし「城南AO推薦塾」を設立
AO推薦に特化した指導を行う

■ 「城南AO推薦塾」の3つの強み

1. キャリアプランの構築

プロのキャリアカウンセラーが、生徒と一緒にキャリアプランを考え、合格から逆算した最適なAO入試プランを作成

2. 独自の教育システム

講義だけでなくマンツーマン指導やグループワークを通じて人間力を養う

3. 実績に裏付けられた出願戦略

生徒ひとりひとりに最適な「出願戦略シート」を作成

■ 実力を引き出し難関大に合格するカリキュラム

1. プレミアムコース

AO入試において最高峰である慶應義塾大学法学部・SFCをはじめとする難関私立大学や、国公立大学のAO推薦入試合格を目指す。

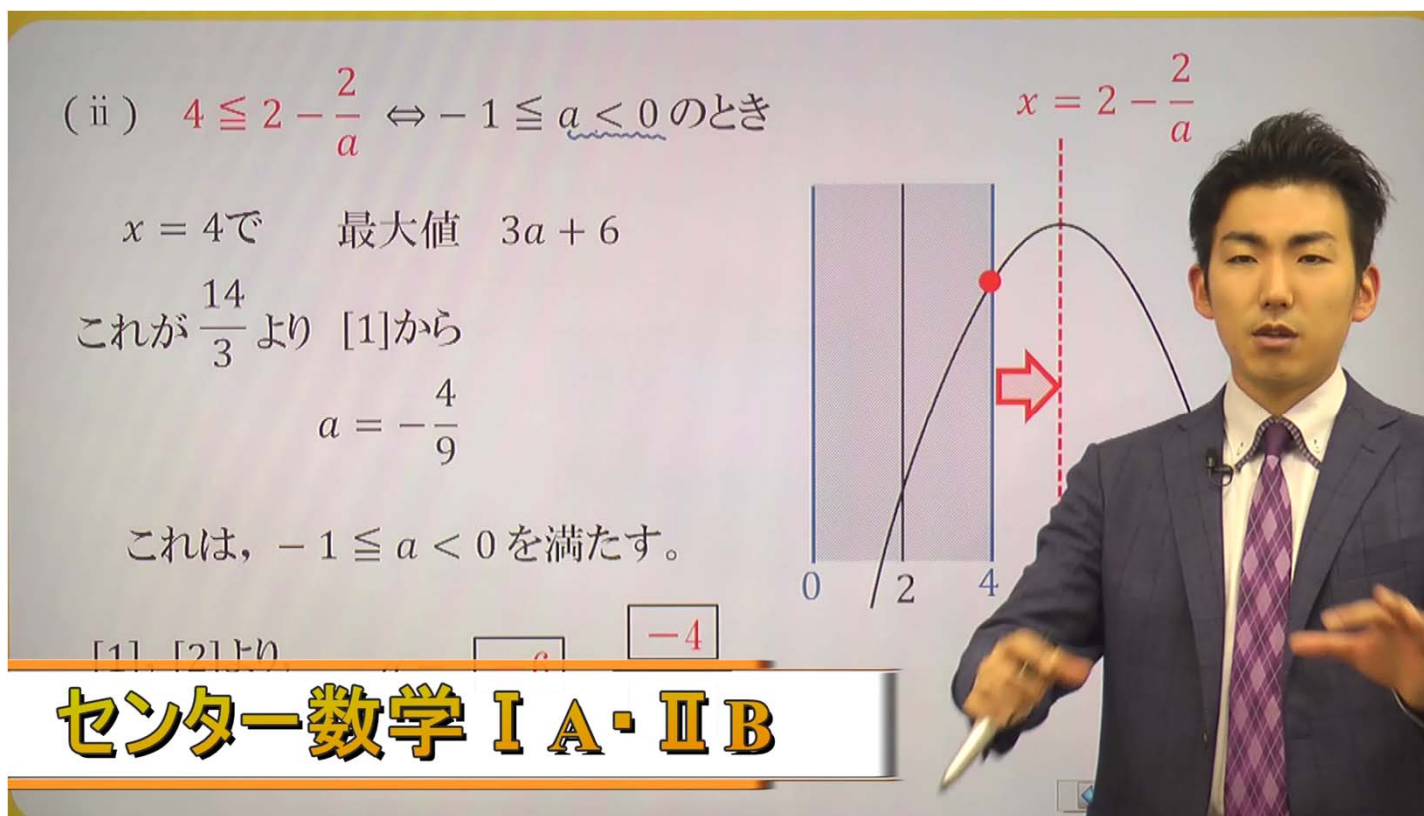
2. コ・メディカルコース

看護・医療系大学へのAO推薦入試合格を目指す。医療スタッフとして備えておくべき基礎知識や心構えを養成する。

3. 高1・2生 ファundamentalコース

難関大学への合格を目指し、早期からのAO推薦入試対策をバックアップする。

- センター試験対策講座や、個別指導教室向け教材「Jシリーズ」の開発を強化
- 電子黒板を活用し、わかりやすく視覚に訴えるコンテンツを作成し、全国の個別指導教室に配信



(ii) $4 \leq 2 - \frac{2}{a} \Leftrightarrow -1 \leq a < 0$ のとき

$x = 4$ で 最大値 $3a + 6$

これが $\frac{14}{3}$ より [1] から

$$a = -\frac{4}{9}$$

これは、 $-1 \leq a < 0$ を満たす。

[1] [2] より a -4

$x = 2 - \frac{2}{a}$

センター数学 I A・II B

利益還元

■ 平成27年3月期は1株8円の期末配当予定

	中間配当 (円 銭)	期末配当 (円 銭)	配当 計 (円 銭)	配当性向 (%)
H26年3月期	0.00	8.00	8.00	45.5
H27年3月期 (予想)	0.00	8.00	8.00	29.9

IRお問い合わせ先

株式会社 城南進学研究社
取締役管理本部長：杉山 幸広
TEL:044(246)1951
e-mail : info@johnan.co.jp

本資料は、平成27年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は平成26年12月5日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。